

SKY コーナー

「2019年度 SKY活動成果発表大会 &安全大会 in 高知」開催(四国支部) ～安全と創意工夫で明日へ飛躍しよう～



情報通信エンジニアリング協会 四国支部

はじめに

四国ブロックにおいては、毎年四国各県で持ち回り開催を行っていますが、今回は2019年11月20日(水)、高知県の高知ぢばさんセンター(高知市)において午前中、四国支部主催「2019年度SKY活動成果発表大会」午後からNTT西日本四国グループ様との「2019四国安全大会in高知」が開催されました。

「2019年度SKY活動 成果発表大会」

開会挨拶

開催にあたり、情報通信エンジニアリング協会 四国支部 阿部支部長(写真1)より、「これまでSKY活動を通じて改善・改良された器具・工具や工法が、発表会、フォーラム等展示会、VE提案等を通じて、作業効率や安全性の向上につながり、効果の拡大が図られてきた。こうした活動は、自社業績への貢献につながり、NTT様の期待に応えることにもなるので力を入れて取り組んでほしい。

NTT様から「構造改革ガイドライン」が示され、それに基づく各種施策が本格実施されてきている中、

重大事故が止まらない。発注者様にも大変ご迷惑をお掛けしている。決められたルール、決めた施策を確実に履行することで、事故撲滅につながっていかなければならない」との挨拶がありました。



写真1 ITEA四国支部
阿部支部長 開会挨拶

来賓ご挨拶

引き続きNTTフィールドテクノ 四国支店 設備部 設備企画部門 安永部門長様(写真2)より「SKY運動を通して日常業務の中で、何か変、手間が掛かる、危険と感じることがあれば、手順を変えたり、器具工具を改良したり、システム変更したりと、安全の確保、お客様サービスの向上、業務の効率化に取り組んでもらっていることを心強く思っている。引き続きよろしくお願ひしたい。

今年に入ってから、あつてはならない重大事故が四国で2件発生している。二度と繰り返してはいけない。

いろいろな施策を進めている中ではあるが、四国全体でさらなる施策

の検討をしてほしい。

安全と健康に勝る仕事はない。業務の中でも、生活の中でも最も優先される事項である。基本ルールの徹底が安全につながるものと考えているので、引き続き基本ルール徹底の取組みをよろしく願ひする」とのご挨拶をいただいた後、本発表大会が開会されました。



写真2 NTTフィールドテクノ
安永部門長様来賓ご挨拶

SKY活動成果発表大会

発表大会では、各会員会社から選ばれた代表4サークルによるテーマ発表が行われました。

最初に四国通建(株)ネットワーク部のテーマ発表「疑似負荷接続ツールの改良」は、分電盤前面の空ヒューズポストに接続可能な疑似負荷接続用ツールを開発することにより、安全性向上、作業時間短縮を同時に達成したという内容でした。

日本コムシス(株)のテーマ発表「引上管固定金物『とめる君』の開発」は、電柱に「とめる君」本体を固定し、吊下げ用シャックルで引上管を

吊り下げる作業方法に変えることにより、作業者負担の軽減を図り、作業時間短縮と品質向上を達成したという内容でした。

四国通建(株)アクセス部(土木)のテーマ発表『管径修復ドリルクリーナー『PRDC』の考案』は、老朽化により有効径が不足している既設管路の管内さび取り清掃作業を安全にかつ効率良く行うためのツールを開発したという内容でした。

最後に、(株)協和エクシオの「電柱点検業務の効率化」は、鋼管柱の点検で用いる地際減肉量測定ツールのゲージ台固定方法の改善により作業時間短縮を図ったという内容でした。

いずれの発表も創意工夫が凝らされた素晴らしい内容で、今後のKAIZEN活動に向けてよい刺激となりました。

水平展開により、KAIZEN活動のさらなる活性化につなげていくことが期待されます(写真3・表1)。



写真3 発表会模様

全体講評

発表終了後、(株)協和エクシオ 四国支店 藤原支店長による全体講評が行われました(写真4)。



写真4 全体講評

表1 発表テーマ一覧

| No | 発表テーマ(発表順) | 発表会社名 | サークル名 |
|----|-----------------------|------------|------------|
| 1 | 疑似負荷接続ツールの改良 | 四国通建株式会社 | 改人強会 |
| 2 | 引上管固定金物「とめる君」の開発 | 日本コムシス株式会社 | 基盤のフィッシュカツ |
| 3 | 管径修復ドリルクリーナー「PRDC」の考案 | 四国通建株式会社 | 良さ来い |
| 4 | 電柱点検業務の改善 | 株式会社協和エクシオ | EXEO PRIDE |

記念品贈呈

全体講評終了後、阿部支部長よりSKY発表4サークルの代表者に「記念品」が授与されました(写真5)。



写真5 記念品贈呈

安全指導者パトロール表彰

当支部安全パトロールにおいて、安全の鉄則を遵守するとともに、他の模範となる安全推進活動に取り組まれた5名の方に対して阿部支部長より「表彰状」ならびに「記念品」が授与されました(写真6)。



写真6 安全指導者パトロール表彰

SKYスローガン唱和

表彰式終了後、(株)協和エクシオ 大西工事長の発声により四国支部のSKYスローガン「安全と創意工夫で明日へ飛躍しよう」の唱和が行われました(写真7)。



写真7 SKYスローガン唱和

閉会

2019年の本発表大会の幹事会社である四国通建(株) 阿部企画部長よりご来賓、参加者へ御礼の挨拶が述べられた後、閉会しました(写真8)。



写真8 閉会模様

「2019年度四国ブロック安全大会 in 高知」

大会概要

この大会はNTT西日本様をはじめとするNTTグループ各社と情報通信エンジニアリング協会により合同で開催されました。「過去の事故を教訓に類似事故を絶対に起こしません！」をスローガンに掲げ、NTT西日本四国カンパニー様の社員およびITEA四国支部会員会社の社員約500人に参加していただきました(写真9)。



写真9 スローガン

今回のポイント

昨年までは、各社による実演を中心とした屋外での開催でしたが、今回の大会は、天候に左右されない室内での開催となり、VR等による体験や展示が中心となりました。また、できるだけ多くの作業者が参加できるように、自由に会場に入場できるフリーイン・フリーアウト型の大会となりました。

開会式

開会にあたり、西日本電信電話株式会社 四国事業本部 前田事業本部長様から「今年1年を振り返ると、大きな自然災害が非常に多かった年でした。通建会社の皆様やNTTグ

ループ会社の皆様におかれましては、災害地の復旧に総力をあげ取り組んでいただき本当にありがとうございます。この安全大会は、Safety First「何よりも安全が第一」をモットーに各人が安全に対する意識を今一度高めることを目的に、毎年この時期に開催しています。しかしながら残念なことに、この1年を振り返ると、四国管内では人身死亡事故を2件発生させてしまい、大切な仲間を亡くしたことを残念に思います。

これから先、二度と四国から悲しい事故を起こさないという意識を、この大会をきっかけとし、何か気づきを持って帰ってほしいと思います」とご挨拶がありました(写真10・11)。



写真10 開会式模様



写真11 前田本部長ご挨拶

VR危険体感および展示コーナー

- (1) 脚立(梯子)からの転落衝撃体感(写真12)
- (2) VR危険体感(事故事例)
 - ・電柱からの転落、梯子からの転落、感電、鉄塔からの転落(高さ体験)

- ・車両の逸走事故、車両転倒事故
- ・所内・所外作業安全パトロール体験
- (3) スマホペ危険工程の体感(映像・実機体験)
- (4) 『設備110番取組紹介』と『空調服体験試着』
- (5) VRを用いた危険体験(感電等)
- (6) VR機器を活用した土砂崩壊等の危険体感
- (7) VTRによるスリップジョイント柱建柱の効率性
- (8) 地下埋設物探索器による調査
- (9) 地盤養生不良時
- (10) 災害時の安否確認は「災害用伝言ダイヤル171」:NTT-FT 四国支店
- (11) 衝突回避支援システム搭載車乗車体験
- (12) 「先進技術搭載車乗車体験」:NCS
- (13) 安全運転適性診断(20分/人)
- (14) 職場における交通安全(安全講習)
- (15) 健康と安全に関するセミナー
- (16) 健康チェック・健康相談
- (17) 飲酒状態での運動機能体感

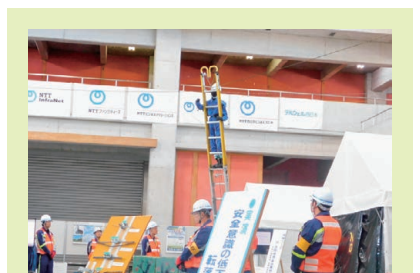


写真12 脚立からの転落体感

閉会式

閉会式では、ITEA四国支部を代表し、四国通建株式会社 常務取締役 中村通信設備本部長から「今年度の大会は少し従来と内容が

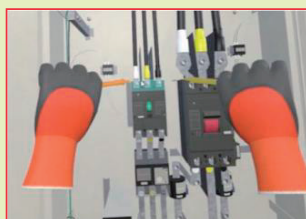
★VR危険体感

会社名：NTTフィールドテクノ四国支店、NTTネオメイト四国支店、NTTインフラネット、NTTファシリティーズ関西 高知支店

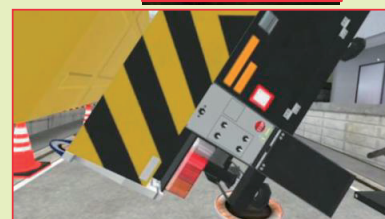
今回はNTTグループ各社のVRによる危険体感が多くあり、どれもリアルに再現され恐怖を体感できました。中には、実際にひっくり返る方もいらっしゃり、あらためて普段から安全意識を高める必要性を感じました。



【外壁改修工事後の足場入場】



【分電盤の電圧測定作業】



【バケット車の横転】

VR危険体感

変わり、実演等を見て危険を感じる形から、VRを中心に体験し危険を感じて、それを次の安全行動につなげて行くように変わったと思っています。従来のやり方は長くやってきて、少しマンネリ化していたところもあり、このように少し目先を変え、いろいろなやり方をリファインしながら進めて行くことも大事なことで感じました。

また、日々の慣れた作業の中で少しでも危険に対する感度を高めて行く取組みの必要性についても再度認識しました。最後に、今日の大会を通し、明日からの安全活動を作業の中に少しでも活かしていただくことをお願いします。ご安全に！」と閉会のご挨拶をいただきました（写真13）。



写真13 中村本部長閉会挨拶

NTT西日本 四国事業本部代表社員（NTTフィールドテクノ徳島営業所）とITEA四国支部代表（日本コムシス）による統一安全スローガン「過去の事故を教訓に類似事故を絶対に起こしません！」を唱和し無事終了しました（写真14）。

最後に

今大会は事故事例等を再現したVR等を通して、自らが危険を体感することで、安全意識の高揚を図ることができました。

参加された多くの作業員の皆様が、各現場に戻り、安全作業に心掛けていただきたいと思います。

最後に、来年度主催（徳島）の



写真14 統一安全スローガン唱和